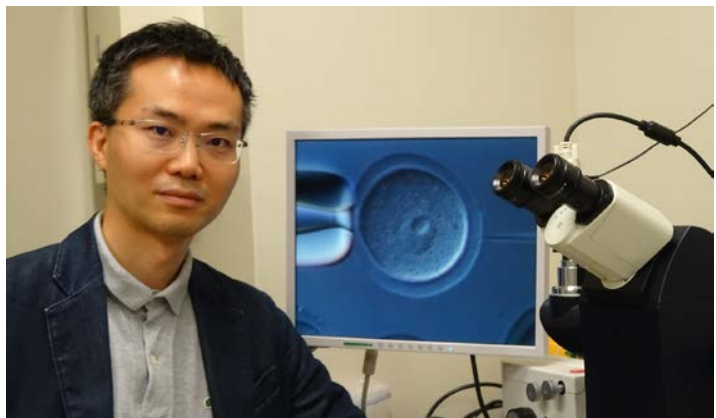


プロフィール



名前	塚本 智史
所属部署	量子科学技術研究開発機構 生物研究推進室
職種	主幹研究員/研究統括
この研究室に入った日	2008年4月
出身地	滋賀県近江八幡市
趣味	タマゴ研究、野球、サッカー (サッカーはGK専門)、散策

インタビュー

Q1 現在までの研究内容を教えてください。

大学生の時に初めて入った研究室でマウスの受精卵に出会って以降（2000年頃～）現在までずっと受精卵の発生に関わる研究に従事しています。近年は、オートファジーや脂肪滴に焦点を当て、卵子や受精卵の品質に関わる細胞内分解機構や脂肪滴の役割を調べています。所属機関では、生殖工学技術を用いた遺伝子改変マウス作製や動物施設の管理などの技術支援も行っています。

Q2 研究者を志したきっかけは？

1) 幼少期に身近に居た職人さんの職人技に憧れたこと。2) 学生時代に初めて入った研究室でたまたまマウスの受精卵に出会ったこと。3) その研究室で初めて読んだ論文が青木不学先生の論文（Dev. Bio, 1997）だったこと。4) 修士の時に若山照彦先生のクローンマウスの講演を聞いて、胚操作のプロを目指そうと思ったこと。5) 京都大学農学部生殖生物学研究室で学べたこと（南直治郎先生と飲んだこと）。6) 自分がやりたいことができる環境と多くの仲間や先生方に恵まれたこと。これらがきっかけになっていつの間にか研究者（タマゴ職人）を志すようになりました。

Q3 若手研究者へのメッセージ

とりあえず今、研究が好きならいけるところまで一生懸命やってみましょう。その過程で色々なきっかけや出会いが待っています。そのきっかけや出会いを大切にしてほしいです。